

鈴木雄介選手 世界競争に向け、市長表敬&激励会

メダル獲得へ意欲
松が岡出身の鈴木雄介選手が9月27日(10月6日)にカタール・ドーハで行われる世界陸上競技選手権大会(男子50km競歩)の日本代表として出場することを受け、7月22日、市役所で激励会を開きました。
鈴木選手は「日本最上位のメダルを獲得し、東京五輪の内定を得たい」と意欲を示しました。
また福岡町在住で鈴木選手の恩師である内田隆幸コーチも同席し、「鈴木選手は順調なので、結果を残せる



激励される鈴木選手(中央)
鈴木選手が参加する強化会館用にJ A根上加工部会の人気商品「ごはんば〜が」が贈られました。

と確信している。ドーハでメダルをとり、能美市に恩返しを」と期待を寄せました。両者には花束が贈られ、井出市長が激励しました。
松が岡町会も応援
激励会には、鈴木選手の故郷である松が岡の方々も駆けつけました。町会長の南盛二さんから鈴木選手へ子供会の応援メッセージが書かれた色紙が手渡されると、「皆さんの声が力になるので、とても嬉しいです。ありがとうございます」と笑顔で話しました。



松が岡子供会から贈られた色紙について話す鈴木選手

女性の就職・再就職を応援 ビジネスマナー&身だしなみ講座

就職に役立つビジネスマナーや身だしなみ講座を8月7日、寺井地区公民館で開催しました。

第1部のビジネスマナー講座では、株式会社北國銀行寺井支店・根上支店・辰口支店の協力のもと、敬語の使い方や、お辞儀の仕方など就職に役立つマナーについて学びました。
第2部では、フルールとくひさよりビューティーコンサルタント



ビジネスマナーとして笑顔のトレーニングを受ける参加者の皆さん

チャレンジスキル支援事業 補助金をご活用ください

【対象となる人は?】

- ・能美市内に住所を有する女性
- ・結婚、出産、育児、介護等により離職した女性
- ・能美市内の事業所に再就職した女性

【対象となる経費は?】

- ・研修等の受講料(教材費含む)
- ・受験料
- ・資格の登録にかかる費用

【補助額はいくら?】

- ・対象経費の1/2以内(上限10万円)

【申請方法は?】

- ①再就職に役立つ資格を取得
- ②能美市内の事業所に再就職
- ③再就職後、6ヶ月以内に申請書等を提出

【問い合わせ】地域振興課(☎58-2212)

ありがとうローズアンさん 任期満了でA L T 退任

市内のA L T(外国語指導助手)として活躍したブラウン・ローズアンさんが7月30日、2年の任期を満了しました。
ローズアンさんは7月

26日、市役所を訪れ、井出市長に退任のあいさつをしました。
能美市の子どもたちに向け「グローバルな世界にはいろいろな人がいますので、英語はこれから必要です。大変だと思っただけ頑張ってください」とメッセージを贈りました。



新A L T にチャ・ミーさんが着任

8月5日からA L T を務めるチャ・ミーさん(アメリカ合衆国カリフォルニア州出身)が8月7日、市役所を訪れ、井出市長に着任のあいさつをしま

した。
ミーさんは「子どもたちに英語に興味を持っていただきたい。まずは何が好きかなど身近な話題で会話していききたい」と話しました。
在任中は市内中学校のA L Tとして、また、週1回小学校へ勤務し1・2年生が英語に慣れ親しむよう活動します。



ひぼ能ん、ゆず美んをラッピングした ごみ収集車の出発式を開催

株式会社日本海開発が7月31日、能美市ラッピング広告事業を活用し、ひぼ能んとゆず美んのイラストをラッピングしたごみ収集車を披露する出発式を開催しました。
出発式には職場体験中の根上中学校2年生2名と、同社の社員が出席し、ラッピング車の出発を見



ライオンズクラブが留学生受け入れ

セルビアからの留学生ソニア・イバノフさんが7月29日、能美市役所を訪れ、能美市の感想を井出市長に話しました。
イバノフさんはライオンズクラブの交換留学制度であるY C E 事業で日本に来ており、能美市に滞在した7月25日から31日までは、能美ライオン

ズクラブ幹事の田上隆幸さん宅にホームステイしました。
「文化を学びたくて日本に来ました。能美市は景観が美しく、人柄が良く感じました。九谷焼の絵付け体験が楽しかったです」とイバノフさんは滞在中のことを笑顔で話しました。



イバノフさん(右から3番目)とライオンズクラブの皆さん

井出市長と懇談

男子総合4位 石川県民体育大会の結果を報告

能美市体育協会の前多純也会長ら3人は、8月5日、市役所を訪れ第71回県民体育大会能美市選手団の成績を井出市長に報告しました。

能美市選手団は男子総合4位、女子総合8位でした。前多会長は「近隣市の開催で、地元選手の皆様の活躍が見られた」と大会を振り返り、「今

年は入賞が叶わなかった女子の強化に努めたい」と来年に向けて決意を述べました。

大会の詳細な結果は次ページで紹介しています。



井出市長に大会結果を報告した前多純也会長（中央）西井和義理事長（右）

能美市民環境ネットワーク主催 小中学生「環境標語」優秀作品決定

家庭でのエコ活動や身近な能美市の自然環境をより意識してもらうために、市内各小中学校から募集した「環境標語」の優秀作品3作を発表します。（敬称略）

◆ハミガキ中 水のだしっぱ やめようね

よしたはるき
吉田 暖生（寺井小5年）

◆温暖化 地球の病氣 なおしたい

しきたはる
敷田 晴（宮竹小4年）

◆能美（飲み）水を 守ろう 救おう 君の手で

でぐちまり
出口 茉莉（寺井中3年）

「令和に刻め 我らの足跡 仲間と共に駆けぬけろ」 石川県中学校体育大会スローガン最優秀賞受賞

令和元年度石川県中学校体育大会スローガンに、県内5716点の応募作品の中から、寺井中学校3年 山本涼さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

山本さんは「新しい元号（令和）になった年にどの中学校が名を刻むのか、という気持ち

ちで、『令和に刻め我らの足跡』というフレーズを入れました」とスローガンを考えた時の思いを話しました。

このスローガンは、今年度の県中学校体育大会のパンフレットやホームページなどさまざまな場面で活用されました。



スローガンを考案した山本涼さん